

調査研究報告書 No.172
2018



職業訓練指導員に必要なとなる技能・技術要素の 明確化、体系化等に関する調査研究

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

職業能力開発総合大学校基盤整備センター

ISSN 1340-2412

調査研究報告書 No.172
2018

THE INSTITUTE OF RESEARCH AND DEVELOPMENT
POLYTECHNIC UNIVERSITY

はじめに

平成28年から5年間にわたる職業能力開発施策の基本方針を示した「第10次職業能力開発基本計画～生産性向上に向けた人材育成戦略～」では、「全員参加の社会の実現加速」に向けた職業能力底上げの推進について、女性、若者、中高年齢者、障がい者等の個々の特性やニーズに応じた職業能力開発の機会を提供することによって、一人ひとりの能力の底上げを図っていくとされている。独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構（以下、機構）や地方公共団体あるいは民間の専門学校等に委託して実施している公共職業訓練が果たす役割は今後も益々重要である。その公共職業訓練において、就職やスキルアップなどに必要な技能・技術・知識についての指導や就職支援などを行っているのが職業訓練指導員（以下、指導員）である。この日本の雇用を支える社会貢献性の高い指導員は多様な受講生のニーズに応え、より高度な訓練や新しい分野の訓練に対応できる専門的な技能・技術だけでなく、優れた指導力の習熟が求められている。さらに、訓練のコーディネート、キャリアコンサルティング、就職支援等、幅広い能力が求められる。

厚生労働省は、平成29年11月24日に指導員の仕事の魅力紹介、指導員の認知度向上等を目的として、指導員の統一的な愛称を「テクノインストラクター」とした。今後、益々重要な役割を担う指導員の職業能力の体系は、指導員の道しるべとして必要であろう。本報告は、平成28年から2カ年の調査研究の取り組みをまとめたものである。指導員に必要な技能・技術と業務遂行に必要な能力の体系を開発したのでここに報告する。

本報告書の構成は5章からなり、第1章では、本調査研究の背景と目的について述べる。そして、調査研究は、委員会方式による研究会・作業部会を設置・運営し、その研究会での議論に必要なヒアリング調査を実施した概要について述べる。次に第2章では、ものづくり訓練における各専門分野のコアとなる技能・技術要素の抽出を行い、それらを体系化した技能・技術の体系と訓練科別の指導員の能力体系について述べる。第3章では、指導員の業務と業務遂行に必要な能力の抽出を行い、専門分野に依存しない指導員の共通に必要な能力体系について述べる。第4章では、本調査研究における成果物とその活用方法について述べる。第5章では総括として「職業訓練指導員スキルマップ」の活用場所及び今後の活用提案についてまとめる。

最後に本調査研究にご尽力頂いた委員及び各種調査にご協力頂いた関係各位に厚くお礼申し上げます。

2018年3月

職業能力開発総合大学校

基盤整備センター

所長 内田 修一

目 次

第 1 章 調査研究の概要	
第 1 節 調査研究の背景と目的	3
第 2 節 調査研究の手法と実施内容	4
2-1 研究会及びスケジュール	4
2-2 ヒアリング調査	7
2-3 職業訓練指導員の育成に関するヒアリング結果	8
2-4 職業訓練指導員に必要な能力	11
第 3 節 本調査研究報告書の構成	12
第 2 章 専門別指導員の能力体系の開発	
第 1 節 専門領域の分類について	15
第 2 節 各専門分野のコアとなる技能・技術要素の体系化	17
2-1 各専門分野のコアとなる技能・技術要素の抽出作業	17
2-2 「職業訓練指導員の技能・技術の体系」の作成	19
2-3 スキルシートの作成	20
第 3 節 訓練科別指導員の能力体系の開発	22
第 4 節 まとめ	25
第 3 章 指導員の共通能力の体系の開発	
第 1 節 指導員の業務について	29
第 2 節 指導員に必要な業務遂行能力の洗い出し	30
第 3 節 指導員の共通能力の体系の開発	33
第 4 節 まとめ	35
第 4 章 成果物の活用方法	
第 1 節 成果物について	39
第 2 節 成果物の活用方法	41
第 3 節 まとめ	50
第 5 章 総括	
第 1 節 まとめ	53
第 2 節 今後について	53

巻末資料

●資料1：職業訓練指導員の技能・技術の体系	55
●資料2：スキルシート一覧（技能・技術）	61
●資料3：職業訓練指導員スキルマップ（訓練系・科別）	189
●資料4：職業訓練指導員スキルマップ（共通能力）	229
●資料5：スキルシート（共通能力）	233